

RX-78

～ to **X** people, who can **R**ealize your dreams and are **R**eliable. ～
夢を実現し、信頼される未知なる（可能性を持つ）者たちへ

北海道中標津高等学校
第 78 期一学年通信
2024(令和 6)年 5 月 31 日
第 8 号
文責 長谷川 敏美

5月が終わります。

入学してからおよそ2ヶ月。勉強や生徒会活動、部活動その他課外活動に、精力的に取り組んでいることと思います。

授業ではABC組で単元テストが始まりました。最初に行った数学ですがどうだったでしょうか？今後、高校の学習内容が深まるので、遅れないように勉強をしてください。総合ビジネス科では、翌月から検定が始まりますね。生徒会活動では、学校祭（N高祭）の原案審議を経て、クラス企画の話を始め頃でしょう。良い企画、取り組みになることを期待しています。部活動では、ソフトテニス部・バスケットボール部・バドミントン部が全道大会出場を果たしています。翌月に行われる大会に備えて練習を頑張ってください。

さて、活動全体は良好に見えますが、細かなところで注意してほしいことがあります。

1 学習習慣を整えてください。

4月9日に、「スタディサポート」「基礎力診断テスト」を行いました。テスト自体の出来不出来はさておいて、皆さんの学習に関するアンケート回答から、傾向として見えてきたことがあります。

- ①計画的学習が苦手～追い込まれたら強いかもしれませんが、段取りよく学習しましょう。
- ②学習内容をつなげて考えるのが苦手～問題の聞き方や数字を変えられたらできなくなる???
- ③復習が苦手？～できなかった問題の解き直しがうまくいっていない模様です。

家庭学習の時間は相当確保できているようです。しかし、学習の様子 of 細かなところを見ていくと、「整っていないところ」が見えます。授業で出された課題を期限までに取り組むことができていますか？今している学習が、それまでの時間に取り組んだ内容と似ているとか、他教科でもつながりがあるとか、考えて授業を受けることができていますか？授業を受けて、「できた」と思い込んで、家での復習をおろそかにしていませんか？定期的に、自身の学習状況を振り返りましょう。

2 からだと命を大切にしましょう。

交通事故に遭わないこと～ケガすると痛いだけでは済まされません。

自転車の無理な運転をしないこと～地域から「おしかり」をうけています。

不用意な外出をしないこと～クマに襲われるリスクを上げるだけです。29日にも出ましたよ。

「高校生ともなれば、十分判断できるだろう。」というのが世間一般のものの見方です。もし、上記のトラブルでニュースになろうものならば、「高校生が？」と思われるかもしれません。それ以上に、あなた達の身に何かあった場合、あなた達以外の方がどのような動きをするのか、想像してください。当然、最も大変な目に遭うのは、保護者の方々でしょう。いつも言っているとおりです。

あなたのとる行動が、周囲にどのような影響を与えるのか、考えて行動する。

保護者の皆さん、今後、お子さんの活動が一層活発になり「行動の幅」が広がっていきます。お子さんが健やかに学校生活を送ることができているか、ご家庭での話題にしてくだされれば幸いです。

6月の活動予定を紹介いたします。

- 12日(水) 社会人講話～町内事業所の方から、仕事の「生の話」を聞きます。正装です!
- 14日(金) 壮行会～全道大会出場部活動・地区大会出場部活動を激励します。
- 16日(日) 全商ビジネス計算実務検定～総合ビジネス科の皆さんが受験します。
- 19日(水) 開校記念日～休業日です。学校があることを祝しましょう。
- 20日(木) 教育実習開始(～7月10日までを予定)
ベネッセ総合学力テスト～普通科対象の模擬試験です。
- 21日(金) 町職員説明会～任意参加の催しです。
- 27日(木) 警察官説明会～任意参加の催しです。
- 28日(金) N高祭準備期間開始 5分短縮7時間授業で、7時間目がN高祭準備になります。
- 30日(日) 全商ビジネス文書検定～総合ビジネス科の皆さんが受験します。

選びし道、それぞれの道

皆さんが本校を選んだこと、そして、普通科・総合ビジネス科を選んだことで、いくつかの「道」が示されています。

普通科 「模試」との戦い / 総合ビジネス科 「検定」との戦い

それぞれの戦いの舞台で奮闘することを期待します。どちらが良いとか、難しいとかいう問題ではありません。模試は、本番ではないが自分の成績の現在地を突きつけられ、できているかどうかの現実を見せられます。検定は、合格しなければそれまでの努力が認められず、検定取得を望むのであれば再チャレンジしかありません。

いずれにしても、「試験を受ける」ということには変わりありません。社会に出ても、同じようなことがあります。昇進試験・キャリアアップに必要な検定受験など、皆さんがテストされる場面があります。また、一定期間の働き方が見られ勤務評価がなされる「人事評価制度」などは、日々の仕事が模試のようなもので、1回の失敗でどうにかなるリスクは低いが、働き方が認められないと、あとで厳しい現実が待っている……。残念ながら、皆さんが数年後に出る社会は、急に優しくなっていることはないでしょう。

今、あなたがたがいる「それぞれの道」を再確認してみましょう。自分の立ち位置(≡どのくらい勉強について行くことができるのか)や、自分の進みたい道(≡進路目標)はどこにあるでしょうか? 目の前のテストや活動にだけとらわれてはいけません。長期的な視野に立って、自身の現在と将来を見つめてみましょう。

この先の一学年について

皆さんに知っておいてほしいことが2点あります。

- 1 7月ごろ、見学旅行の積み立ての案内が来ます。積立額¥135,000
- 2 9月下旬、三者面談があります。

見学旅行の旅行代金を一括払いすることは可能ですが、負担が大きいです。代金の負担を家庭に負わせていることは知っておいてほしいです。旅行会社から積み立て申し込みの書類が届き次第、配付します。三者面談は、次年度の科目選択についての話もします。その場での決定が次の年度以降の動きを決める重要な場面です。気をつけましょう。